

Syllabus Id	syl.-1101598		
Subject Id	sub-1101007650		
更新履歴	20110329 新規		
授業科目名	経済学 ECONOMICS		
担当教員名	野方 宏		
対象クラス	全学科・5年		
単位数	2学修単位（自学自習を含め90時間の学修をもって2単位とする）		
必修／選択	選択		
開講時期	前期／後期		
授業区分	人文・社会科学・語学等		
授業形態	講義		
実施場所	5学年各クラス HR もしくは、選択制 III 教室		
授業の概要 (本教科の工学的、社会的あるいは産業的意味)			
現代経済における市場の基本的仕組み（市場メカニズム）の理解と日本経済に関する基本的知識の修得			
準備学習 (この授業を受講するときに前提となる知識)			
戦後の日本経済の基本的流れ（経済の歴史）に関する基本的知識.			
学習・教育目標	Weight	目標	説明
	◎	A	工学倫理の自覚と多面的考察力の養成
		B	社会要請に応えられる工学基礎学力の養成
		C	工学専門知識の創造的活用能力の養成
		D	国際的な受信・発信能力の養成
		E	産業現場における実務への対応能力と、自覚的に自己研鑽を継続できる能力の養成
学習・教育目標の達成度検査	1. 該当する学習・教育目標についての達成度検査を、年度末の目標達成度試験を持って行う。 2. プログラム教科目の修得と、目標達成度試験の合格を持って当該する学習・教育目標の達成とする。 3. 目標達成度試験の実施要領は別に定める。		
授業目標			
経済学の基本である需要・供給分析の基礎とその具体的応用およびGDPに関する基本的事項を学ぶ、			
授業計画 （プログラム授業は原則としてプログラム教員が自由に参観できますが、参観欄に×印がある回は参観できません。）			
回	メインテーマ	サブテーマ	参観
第1回	前期オリエンテーション	経済学を学ぶにあたって	
第2回	世界の中の日本(1)	日本経済の基本的統計数字	
第3回	同 (2)	一人当たりGDPと生活水準	
第4回	GDPについて(1)	GDPの定義	
第5回	同 (2)	GDPの範囲と目的	
第6回	同 (3)	GDPと幸福(度)	
第7回	GDPの決定(1)	簡単な経済モデル	
第8回	同 (2)	乗数理論	
第9回	同 (3)	財政政策と金融政策	
第10回	市場の働き(1)	需要と供給の基本	
第11回	同 (2)	余剰分析	
第12回	同 (3)	需給分析の応用：価格規制	
第13回	同 (4)	市場の失敗	

第14回	同 (5)	市場で出来ること, 出来ないことないこと	
第15回	前期末試験		×
第16回	後期オリエンテーション		
第17回			
第18回			
第19回			
第20回			
第21回			
第22回			
第23回			
第24回			
第25回			
第26回			
第27回			
第28回			
第29回			
第30回	後期末試験		×

課題

自学自習課題として適宜提出させる。

レポート内容： 授業で取り扱った論点についての考察や授業内容のまとめ等

提出場所： 授業実施教室

提出期限： 出題した次週またはそれ以降の指定した日時

オフィスアワー： 火曜日 12:30～13:00

評価方法と基準

評価方法

定期試験と自学自習課題レポートの評価を加味する。

評価基準

詳細については、講義中に説明する。

教科書等	テキストはありませんが、参考書は講義中に適宜指示します。また、新聞（特に、日本経済新聞）の経済記事に目を通す努力をすると講義への関心が高まると思います。
先修科目	
関連サイトのURL	
授業アンケートへの対応	初年度につき、なし。
備考	1. 試験や課題レポート等は、JABEE、大学評価・学位授与機構、文部科学省の教育実施検査に使用することがあります。 2. 授業参観されるプログラム教員は当該授業が行われる少なくとも1週間前に教科目担当教員へ連絡してください。